

令和元年度 第2回福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和2年2月12日(水) 10:00~11:50
- 2 開催場所 市役所本館8階 第8会議室(B)
- 3 出席者
 - (1) 委員 内山秀樹 委員長、田村洋子 副委員長、天野準一 委員、井上武史 委員、
奥村清治 委員、齋藤万世 委員、澁谷政子 委員、辻武志 委員、富田早苗 委員
(黒川委員欠席)
 - (2) 事務局 総合政策課、財政課
- 4 会議次第
 - 1 開会(市民憲章唱和)
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 令和元年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果 について(報告)
 - (2) 「福井市行財政改革指針(平成29~令和3年度)」令和元年度取組結果案について
 - (3) 「令和元年度 外部点検結果」に基づく対応について
 - 4 その他
 - 5 閉会
- 5 議事の概要

委員長	<p>(1) 令和元年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果 について(報告)</p> <p>昨年10月24日に開催された財政健全化専門部会の会議結果について報告する。</p> <p>財政再建計画の成果については、策定した初年度ということもあり評価しづらいが、平成30年度決算については概ね良好という評価であった。</p> <p>主な意見をいくつか報告すると、まず投資的経費について、平成30年度の実績では98億円であったが、財政再建計画の財政収支見通しでは、平成31年度は68億円となっており、次の年は厳しいのではないかという意見があった。これに対して、事務局の回答は、新幹線開業に向けた再開発の影響で増加の可能性もあるので、(財政収支見通しの)見直しも含めて行っていくが、全体の財政健全化としてはしっかり取り組んでいくというものであったかと思う。</p> <p>また、大型公共事業にかかる費用として、新ごみ処理施設の整備費が他市に比べて高額ではないか、慎重に進めて欲しいという意見があった。これに対して、事務局の回答としては、オリンピックの影響等により建設単価が上昇してきているが、コスト削減を図りながら行っていくというものであったかと思う。</p> <p>アクションプラン素案については、住民生活に密接に関連するものであり、部会員の関心も高く、特に多くの意見があった。市民への説明が不十分なのではないかといった意見や、地域の活力を削いでしまわないよう、活力維持の対応も含めて考えていかないといけないのではないか、といった意見があった。</p> <p>全体に対する意見としては、財政健全化が実現できてこそ、市民サービスを維持できるので、しっかりと財政健全化をやりきることがまず第一で、その上で丁寧な市民への説明や地域活力の維持の視点からの対応が必要といった意見があった。</p> <p>それでは、財政健全化専門部会の会議結果について何かご質問があれば、お願い</p>
-----	---

	する。
委員	クラウドファンディングについて、目標額に届かなかった場合、寄付者にお返しするという理解でいるが、届かなかったケースはないのか。
事務局	目標額に届かなかったものもあるが、届かなかった分は市が予算を盛って実施している。
委員長	他に意見がないので、専門部会の報告についてはこれで終了する。
	(2) 「福井市行財政改革指針（平成29～令和3年度）」令和元年度取組結果について(報告)
委員長	事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	それではまず、柱の一つである「時代の変化に対応できる組織体制の構築」の部分について意見があれば、お願いします。
委員	この行財政改革指針が策定された時には議論されていなかったと思うが、公務員の定年が延長された場合の、福井市における財政負担の予測や、行革の取組への影響はどうか。 また、男性の国家公務員に、1カ月以上の育児休業を促すという話があるが、福井市としては今後、どのように取り組む考えか。これからの話かもしれないが。
事務局	まず、男性の育児休業について、近年の推移を見ると、29年度3名、30年度4名、今年度6名と増えてきており、本市としても推進をしている。 次に、定年延長の議論の中での人件費について、人件費は総枠として考えていかなければならない。大きなところで縛りをかけた上で、必要な人員配置等を適正に行っていくというのが基本的な考え方かと思う。なお、財政再建計画の中で人件費についてもシミュレーションしているが、定年延長などは見込んでいない。消費税改正の影響なども考慮し、収支の見込みについては一定の時期に見直しが必要と考えている。
委員	大学院への派遣は、どのような立場の者を何名ほど派遣しているのか。
事務局	京都橘大学大学院へ、30代の主査を1名派遣している。期間は2年間。
委員	市職員を集めた研修を開催し、学んできたことを伝えるというようなことは、まだしていないということか。
事務局	まだ派遣期間中のため研修は行っていないが、レポートによる報告は行っている。
委員長	職員の資質向上にあたり、派遣についての仕組みはできているのか。
事務局	必要性に応じて派遣しており、どの大学に派遣するというようなことが、制度として決まっているわけではない。 大学だけでなく、地方創生という観点から内閣府へ職員を派遣したり、時代の変化を捉えて派遣している。
委員	派遣することが目的ではなく、戻ってきて市にフィードバックし、職員全体がレ

	<p>ベルアップするということが最終の目的だと思う。</p>
事務局	<p>例えば、旅行関係の企業に派遣した職員なら、商工労働部に配置して業務に活かしている。また、市職員を対象に、派遣された職員による研修を開催し、派遣で得たノウハウなどを職員に広める取組も行っている。</p>
委員	<p>次に、「市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスの提供」の部分について意見があれば、願います。</p>
委員長	<p>取組計画No.8の連携中枢都市圏について、以前から嶺北地域の課題について議論されてきたが、絵に書いた餅であったように思う。弾みがつきそうなのか、現状を教えて欲しい。</p>
事務局	<p>ふくい嶺北連携中枢都市圏は、昨年の4月1日からスタートし、55の主要な取り組みについて進めている。当初、他市町においては事業の進め方などに不安もあったかもしれないが、対等な立場で事業を進めていくことや、連携によるメリットを感じてもらえるようになってきたことで、よい方向に向かってきていると感じている。</p> <p>これからの2、3年においては、新幹線開業に向けさらに取組を強化していく必要がある。</p>
委員	<p>取組計画No.7の生活困窮者の相談・支援に対応する総合窓口の設置について、困っている人がこの窓口に来るとするのは定着しているのか。</p>
事務局	<p>29年度からハローワークが入り、現在の相談窓口の体制をとっているが、相談件数等の実績は増えてきており、浸透してきていると思う。</p>
委員	<p>困っている方への相談窓口が、いろんなところにあって、わかりづらいのではないかと思うので、今後も周知を行って欲しい。</p>
事務局	<p>前回、同様の意見をいただいたため、担当課に連絡し、民生委員に相談窓口の周知をさせていただいた。そういったこともあり、実績が増えている部分もあると思う。</p>
委員	<p>就職した後も継続して働いているか、また、離職した方はどれくらいいるかについて、市は把握しているのか。</p>
事務局	<p>(所管課に確認)</p> <p>就職後の追跡調査は行っていないとのことであった。ただし、相談時に、仕事がうまくいかなかった場合には、再度相談に来るよう声かけしており、離職後に、再度相談に来てる人もいるとのことであった。</p>
委員	<p>市民意識調査について、費用対効果を検証し、隔年で実施するのはいいが、施策に反映させるのは今の調査内容では難しい。施策に反映させるならば、もっと細かい調査が必要。スケジュールだけでなく、調査内容等、中身も意識して欲しい。</p>
委員	<p>指定管理者制度の外部モニタリングについて、よい評価を受けている事業者を次回選定の際優遇するような取組はあるのか。よく指定管理を行っていても、結局安い提案をしたところが選定されるのではないか。</p>
事務局	<p>優遇措置については、他の事業者が参入しづらくなるという弊害も懸念されるため、採用していないが、指定管理者の実績については、次期選定の際の参考資料として提示することとしている。</p>

委員	地域づくりミーティングの開催について、開催回数が49地区で49回というのは、各地区1回ということか。年1回の開催で、どれだけの成果があるのか。
事務局	大きな枠組みで数えると49回ということだが、実際は年間を通して各種行事や、会議などに参加し、関わっている。
委員	成果が見えるように、回数よりも、もっと内容をアピールした方がよい。
事務局	地域づくりミーティング開催回数として数値目標に挙げているため、このような報告になっているが、今年度の取組としては、「地区まちづくりビジョン」策定の支援などを行っている。
委員	まだ20地区以上で、「地区まちづくりビジョン」が策定されていないと思うが、これらの地区に対して市はどのようにするつもりなのか。
事務局	市としては、「地区まちづくりビジョン」を策定し、地区の中で共有していただきたいと思っている。趣旨から考えると、強制的に作ってくれというものではないが、市として支援できるようなことがあれば行っていきたいと考えている。
委員	ビジョンを策定して、計画を実行していくという地区に対し、市として補助を行っていくということは、補助金がついてまわることになる。裏返せばビジョンを作らないところには補助が出ないということになると思うが、そうであるならば、ビジョンを策定していない地区にそのことをもっと言った方がいいのではないか。
事務局	ビジョンを策定している地区と策定していない地区では、まちづくりに対して交付する額に差が出るので、その辺りは地区の会合等で説明を行っているのではないかと思うし、今後も行っていくと思う。市としては、全地区での「地区まちづくりビジョン」策定を目指している。
委員	新年度の予算編成を行っているところだと思うが、新年度の予算は全地区で「地区まちづくりビジョン」が策定されるという想定で編成しているのか。それとも現時点で策定している地区を基に編成しているのか。
事務局	これから議会で審議するところだが、新年度の予算は、現時点での策定見込みを基に考えている。
委員	地域担当職員の実績に対して評価する制度はあるのか。
事務局	個人の人事評価を行う際、地域担当職員業務はプラスアルファの要素となっている。
委員	中核市に移行して、市民のニーズや組織に対して、どのような影響や効果があったのか。また、課題としてはどのようなものがあるか。
事務局	中核市に移行したことによる効果としては、以前は1カ月半程かかっていた身体障害者手帳の交付が、10日程でできるようになったことや、水仙を間違えて食べて食中毒を起こした事例など、保健所に関する情報がすぐに入るようになったことが挙げられる。 また、中核市になったことで、連携中枢都市圏を形成することができるようになったことも大きい。 中核市に移行したことによる課題としては、比較対象が他の中核市になり、求められることや、やっていかなければいけないことのレベルが上がっているということがある。

委員	他自治体とのレベル差や、福井市の立ち位置が見えてきたということかと思うが、それがこれから行っていく解決すべき課題に盛り込まれていくと、市民にも明確に伝わるようになる。市民の意識改革につながっていければ、全体的なレベルアップにつながると思う。
委員	No.14について、広報紙が以前と比べて良くなり、中を見てみようという気になる。県外のテレビなどでも福井のことが取り上げられ、上手くメディアを使って広報していると感じており、評価は快晴でもいいのかな、と思う。これから新幹線開業のこともあるので、企業とも協力し、取組をもっと進めて欲しい。
委員長	次に、「効果的で持続可能な行財政運営の推進」の部分について意見があれば、お願いします。
委員長	No.21の広告媒体の研究・導入について、この実績の中にはネーミングライツも入っているのか。
事務局	セーレンプラネットでのネーミングライツの実績も入ってる。
委員長	ふるさと納税について、福井市の市税歳入に占める割合はどれくらいか。
事務局	本市の市税歳入はおよそ440億から450億円で、令和元年度のふるさと納税が約3億円なので、割合としては1%弱である。
委員長	ふるさと納税について、目標はあるのか。
事務局	極端な返礼品を設定し、ふるさと納税を多く集めている自治体もあるが、福井市としてはルールの中で、いい返礼品を用意し、その上で本市を応援していただきたいという思いで頑張っている。実績としては伸びているが、どの自治体も頑張っているため、どこまでも伸びていくものではないと考えている。
委員	最近、各地区にふるさと納税をすることができるため、地区でも頑張っている。福井市とゆかりのある人は多くいると思うが、福井市はどのようにアクションをしているのか。去年ふるさと納税があった人にだけお願いしているのか、それとも福井とゆかりのある人をリストアップして取り組んでいるのか。又は各地区にお任せなのか。
事務局	地元に戻元される仕組みも設けているため、地元で頑張っている方もいるが、担当所属であるまち未来創造課も積極的に取り組んでいる。例えば、東京事務所と連携し、首都圏在住の方で、福井市にゆかりのある人を探し、ふるさと納税のお願いにしている。また、本市のふるさと納税の情報がインターネット上の検索結果において、なるべく上がってくるよう取り組んでいる。
委員	地区によって差が出てくるので、全地区が均等に伸びていくようにして欲しい。
事務局	地域の活動に寄付することが出来るので、差は出てきているのが現実である。
委員	税収は減っていくことが見込まれるので、収入確保策が重要だと思う。資料に掲載されている取組以外の収入確保策はあるのか。また、他市の取組について研究をしているのか。目標数値の設定方法はどのように行っているのか。
事務局	去年は、職員から新たな収入確保策について提案を募集した。募集の結果、公用

	<p>車に企業広告を掲載するアイデアが採用され、実現している。今後も、いろいろな手法を考えていきたい。</p>
委員	<p>ふるさと納税について、参考になる事例もたくさんあると思う。例えば現在はポータルサイトとして、ふるさとチョイスを利用していると思うが、これを広げていくことなど、収入確保策について研究して欲しい。</p>
事務局	<p>他市事例も研究し、収入が増えていくよう頑張っていきたい。</p>
委員	<p>順化公民館と順化小学校を複合化した後、順化公民館は取り壊すのか。</p>
事務局	<p>4月1日に順化公民館の機能を順化小学校に移すので、現在の順化公民館は空きビルとなる。使わないということであれば原則解体となるが、正式には決まっていない。なお、当地は公園用地であり、借地料はない。</p>
委員	<p>クラウドファンディングを行う事業は市で決めているのか。</p>
事務局	<p>市の事業所管課が、クラウドファンディングを行うか決めている。</p>
委員	<p>市が決めるだけでなく、市民からクラウドファンディングを実施する事業を募集してはどうか。そうすると、市民としても応援したい事業が上がってくるのではないかと思う。</p> <p>また、ひとり親家庭に親子記念写真を贈呈する事業について、母子家庭だけでなく、父子家庭も対象になることをアピールした方がよい。</p>
事務局	<p>市政広報では、父子家庭も対象になることを広報している。</p>
委員	<p>ふるさと納税の返礼品について、勝山市の事例だが、スキージャムのリフト券など、サービス提供型のものがうれしいと言う意見を聞いている。品物だけでなく、ソフト面のものも増やした方がいい。</p>
事務局	<p>今年、4月から9月にかけて、79の返礼品を追加したが、その中で、フェニックス花火の観覧チケットを追加している。このようなものが他にもあれば、追加していきたい。</p>
委員長	<p>取組結果についていろいろな意見が出たので、対応すべきところは、事務局でとりまとめて、担当課に伝え対応して欲しい。</p>
	<p>(3) 「令和元年度 外部点検結果」に基づく対応について</p>
委員長	<p>次に、『議事(3)「令和元年度 外部点検結果」に基づく対応について』、事務局から報告を。</p>
事務局	<p>(資料に基づき報告)</p>
委員長	<p>ただいまの報告に対し、質問等はないか。</p> <p>キャッシュレス決済について、実際に使ってみると大変便利だと感じている。商工関係の部署など、担当の所属はどのように対応しているのか。</p>
事務局	<p>いろいろなお店に対し、制度の説明に回っていると聞いている。</p>
委員	<p>この後、キャッシュレス決済について、キャッシュレス事業者や国の方にも来ていただき、講習を受ける予定がある。そういった講習の機会があるのでお店側では</p>

	<p>キャッシュレス決済が進んでいるが、消費者にまだ浸透していないように思う。 また、きゃろふくやこしのルビーなど、福井市の特産品について、まずは子どもたちから広めようと、被り物をして幼稚園や保育園を回る活動をしているが、まだきゃろふくやこしのルビーについて知られていない。他の特産品もあれば、PRしたい。</p>
委員	<p>福井フェニックスまつり、ふくい春まつり開催事業について、恐らく私の意見のところだと思うが、「商工会議所よりも市主導で」となっているが、対等という意味で発言したところであり、商店街や商工会連合会など市民に近い方々が参加できる祭りにして欲しいという趣旨だった。商工会議所が大切なパートナーと言うだけでは、今と変わらない祭りになるのではないかと思う。所管所属に伝えて欲しい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
委員	<p>はたちのつどいの実行委員メンバーに対し、フェニックスまつりの実行委員会に参加してもらうことは、働きかけしているのか。</p>
事務局	<p>はたちのつどい終了後に、はたちのつどいの所管所属に働きかけていくということであった。</p>
委員長	<p>担当課が違くと、関係が切れてしまうことがあるので、そうならないよう連携して欲しい。</p>
委員	<p>ジビエの流通について、シカ、イノシシの加工施設の設置を考えているグループ等があれば支援するということだが、そういう団体が出てくれば支援するということを関係団体に周知しているのか。</p>
事務局	<p>担当課は、手を挙げてくれば支援するという話はしていると思う。</p>
委員	<p>それでは他に意見もないようなので、これで終了する。担当課には本日の委員会意見をふまえてそれぞれ推進してもらいたいということを伝えて欲しい。</p>

(11 : 50 終了)